

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和3年9月定例会	
議案番号 議案名	議案第19号 令和3年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)
議員名・会派名等	日本共産党
賛否態度	反対
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>私たちは日本共産党は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活発なところこそが議員の責務と考えます。非公式の場に、議会で発言もしていない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるという考えから、以下、本会議委員会などの公の場で討論した内容を掲載します。</p> <p>2021年9月27日 本会議 議案討論 日本共産党の山口正子です。</p> <p>健康福祉常任委員長から報告がありました、議案19号 令和3年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)について、会派を代表して反対討論を行います。</p> <p>今回の補正予算は2020年度決算に基づくもので、特徴的なのは介護給付費と地域支援事業支援の交付金の減額が合わせて1億6964万9千円と大きくなっています。これは先ほど介護保険特別会計の決算で簡単に述べましたが、介護サービスや介護予防への支出が大幅に減少して不用額が大きくなっていることと、その他の支出の減少もあります。細かくみますと前年度に比べてコロナ禍で、介護サービスでは居宅への訪問型サービスの利用は増えていますが、通所型サービスの利用は減少していました。全て介護サービスの利用が減少しているわけではなく、需要はあることが解りました。高齢者の増加に伴う介護サービスと介護予防サービスで介護の重度化をいかに予防するのか取り組みが必要です。</p> <p>補正予算では結果的に2021年度への繰越金が、22億4710万2千円増加し、2018年度から2020年度までの第7期の3年間で最高額となりました。</p> <p>介護給付費等準備基金の今年度末残高見込みが30億3989万9千円と、基金残高も過去最高額です。これほど積み立てる必要があるのでしょうか。高齢者の年金は減らされ厳しい生活を強いられる中で、松戸市の2021年度からの第8期介護保険料は基準額で100</p>

円引き上げられました。先の決算でも述べましたが保険料の軽減で滞納も減少するという効果もあるわけですから、基金をどんどん増やすのではなく必要な介護サービスを措置として増やし、介護保険料の引き下げを求めましたが、次期保険計画で保険料負担抑制に活用することによって、保険料引き下げは受け入れられませんでした。

現在の介護保険制度は、介護サービスが必要な人に必要なサービスを措置として以前の老人保険制度のように行なうのではなく、介護度によって所得に見合ったサービスを契約しなければ利用できません。お金がなければ必要な介護サービスが受けられないのが実態です。

これでは保険料は払っても必要な介護サービスを受けられません。

介護の仕事は働きがいはあるのに他の産業に比べて収入が低いために、介護人材が不足していることが大きな問題です。介護従事者への大幅な処遇改善がなければ、介護保険制度そのものが崩壊寸前です。東京商工リサーチによりますと、2020年度「老人福祉・介護事業」の倒産は過去最多の件数で前年度より6.3%の増加となっており、休廃業・解散も406件と過去最多で、国として介護保険制度の根本的な見直しが必要と求めます。2021年度からの第8期の介護報酬改定だけでは介護事業所の経営改善は困難との報告があります。

以上、この介護保険特別会計補正予算第2回に対する問題点を指摘し改善策を提案して反対討論を終わります。